

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		法学 Jurisprudence			担当者所属 職名・氏名		法学研究科 教授 服部 高宏		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	法・政治・経済(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>大学でどの専門分野の学習を進めるにしても、誰しも社会生活においては必ず法とのかかわりを持つことになる。この授業では、法・法学がどのようなものであるか、その全体像を把握することを通じて、各自の専門領域と法との接点を確認し、社会生活における法の役割のあり方について理解を深めることを目的とする。</p>									
【到達目標】									
<p>各自の専門分野との関連で、また現在・将来の社会生活を営む上で必要な法・法学の基礎的な知識を身に付け、その全体像を把握する。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>基本的に以下のプランに従って講義を進める。ただし講義の進みぐあい等に対応して順序や同一テーマの回数を変えることがある。</p> <p>第1回 法と社会生活  第2回 法の歴史  第3回 法思想の展開  第4回 法の存在形式  第5回 法の諸分野  第6回 法の機能と構造  第7回 法の支配と法意識  第8回 法と道徳  第9回 法と正義  第10回 法を実現する仕組み(1)  第11回 法を実現する仕組み(2)  第12回 法令の読み方  第13回 判例の読み方  第14回 法の解釈  第15回 期末試験</p> <p>フィードバック方法は別途連絡する。</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
<p>最終回の授業(7月10日)において試験を実施し、そこにより成績評価を行う。</p>									
----- 法学(2)へ続く -----									

法学(2)

**[教科書]**

授業時にプリントを配布する。

**[参考書等]**

(参考書)

授業中に紹介する

**[授業外学修(予習・復習)等]**

予習：初回の授業以降、次回の授業に向けての課題を授業時に指定する。

復習：授業時に配布した資料などに基づき、授業内容が理解できているか確認する。

**[その他(オフィスアワー等)]**

**[主要授業科目(学部・学科名)]**